

学 年

2 年

【式の計算】⑦ 文字式の利用(2)A

年 組 氏名

1 (1) たとえば, $54 - 45 = 9$

$$31 - 13 = 18$$

$$41 - 14 = 27$$

したがって,

答え 9の倍数

〔Point〕

倍数の表し方

- 9の倍数 = $9 \times (\text{整数})$

- 11の倍数 = $11 \times (\text{整数})$

2けたの整数の表し方

十の位を m , 一の位を n とすると,

$$10 \times m + 1 \times n$$

$$= 10m + n$$

(2)

〈説明〉

もとの2けたの自然数の十の位を m ,一の位を n とすると,もとの自然数は $\boxed{\text{①}}$, 十の位の数と一の位の数を入れかえてできる自然数は $\boxed{\text{②}}$ と表される。

それらの差は,

$$(\boxed{\text{①}}) - (\boxed{\text{②}})$$

$$= 9m - \boxed{\text{③}}$$

$$= \boxed{\text{④}} (\boxed{\text{⑤}})$$

 $\boxed{\text{⑤}}$ は $\boxed{\text{⑥}}$ だから, $\boxed{\text{④}} (\boxed{\text{⑤}})$ は $\boxed{\text{⑦}}$ になる。

したがって,

2けたの自然数と, その十の位の数と一の位の数を入れかえてできる自然数との差は, $\boxed{\text{⑦}}$ になる。答え ① $10m+n$ ② $10n+m$ ③ $9n$ ④ 9 ⑤ $m-n$ ⑥ 整数 ⑦ 9の倍数

学 年

2年

【式の計算】⑦ 文字式の利用(2)B

年 組 氏名

1 2けたの自然数と、その十の位の数と一の位の数を入れかえてできる自然数との和について、次の各問いに答えなさい。

(1) どんな数の倍数になりますか。

答え

(2) (1)のことを、『文字式の利用(2)A』の(2)の<説明>を参考に、説明しなさい。

学 年

2 年

【式の計算】⑦ 文字式の利用(2)B

年 組 氏名

1 (1) たとえば, $54 + 45 = 99$

$$31 + 13 = 44$$

$$41 + 14 = 55$$

したがって,

答え 11の倍数

〔Point〕

倍数の表し方

- 9の倍数 = $9 \times (\text{整数})$

- 11の倍数 = $11 \times (\text{整数})$

2けたの整数の表し方

十の位を m , 一の位を n とすると,

$$10 \times m + 1 \times n$$

$$= 10m + n$$

(2)

〈説明例〉

もとの2けたの自然数の十の位を m , 一の位を n とすると,もとの自然数は $10m + n$,十の位の数と一の位の数を入れかえてできる自然数は $10n + m$ と表される。

それらの和は,

$$(10m + n) + (10n + m)$$

$$= 11m + 11n$$

$$= 11(m + n)$$

 $m + n$ は整数だから, $11(m + n)$ は11の倍数になる。

したがって,

2けたの自然数と, その十の位の数と一の位の数を入れかえてできる自然数との和は,

11の倍数になる。